

～ 原山中学校の通知表の見方について ～

中学校の各教科の評価は、各教科における評価基準に照らし、『絶対評価』で観点別に評価を行い、それをもとにして5段階の評定をつけています。『絶対評価』とは学習の目標に対して生徒一人ひとりがどこまで到達したかを見るものです。

自らの学習状況に気づき、自分を見つめ直す資料としてとらえ、学習の改善や生き方の確立に結びつけていけるようにしましょう。

1 各教科

各教科で、観点別に3段階（「A」「B」「C」）で評価します。

観点別評価の資料を総合して、5段階（「5」「4」「3」「2」「1」）の絶対評価で表します。

- (1) 各教科の観点項目（教科によって異なります）
- ① 関心・意欲・態度
 - ② 思考・判断・表現
 - ③ 技能
 - ④ 知識・理解
- (2) 観点項目の評価の表し方
各教科の評価の基準に照らして、以下の3段階で評価します。
- A：十分に満足できると判断されるもの
B：おおむね満足できると判断されるもの
C：努力を要すると判断されるもの
- (3) 観点別評価のもとになる資料
- 授業での観察・評価（授業態度・挙手・技能・発表等）
 - 提出物・ノート・レポート・作品等
 - 定期テスト・小テスト等
 - 自己評価等

(4) 教科の評定

観点別評価の資料を総合して、5段階の絶対評価（目標に準拠した評価）で表します。

例)

	例1	例2	例3
関心・意欲・態度	A	A	B
思考・判断・表現	A	A	B
技能	A	A	B
知識・理解	A	B	B
評定	5	4	3

<評定について>

- 評定5：十分に満足できると判断されるもののうち、とくに高い程度のもの
- 評定4：十分に満足できると判断されるもの
- 評定3：おおむね満足できると判断されるもの
- 評定2：努力を要すると判断されるもの
- 評定1：一層の努力を要すると判断されるもの

= 観点別評価と評定の関わりについて =

○観点別評価と評定の関わりについての基準は、各教科によって異なります。

○1つの教科において

生徒① AAAA→4 }
生徒② AAAB→5 } のように評価が逆転することはありません。

※ 学年評定は、1・2・3学期の評価を総合して、年度末に評価します。

※ 学年評定は、3学期の通知表でお知らせします。

2 総合的な学習の時間（全学年）・道徳（全学年）・潤いの時間（1年のみ）

「通年の評価」として、3学期に「文章」で評価します。